

# 生涯学習部

## 中央生涯学習センター

(2事業)

事務事業名	ページ
中央生涯学習センター管理運営事業	208

事務事業名	ページ
中央生涯学習センター活動事業	210

## 平成 24 年度 事務事業シート ( 評価 )

### 1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	105 - 10	新規・継続	継続
所 属	教育委員会 生涯学習部 中央生涯学習センター 生涯学習係				
まちづくり大綱	第1節 個の力が発揮でき、人の力で発展していくまち 一人づくり				
まちづくり目標	③ 自らの興味・関心に応じていつまでも学び、活躍できるまち				
施 策	1-5 市民が主体となった学習活動の充実				
事務事業名	中央生涯学習センター管理運営事業				
予算科目	一般会計	10 款	5 項	1 目	32 細目
根拠法令	社会教育法、東広島市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例				
				ハード・ソフト別	混在

### 2 コスト情報

		22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		
コスト	事業費	事業費合計 (A)		31,880 千円		33,703 千円		31,053 千円		
	財源内訳	国県支出金		千円		千円		千円		
		地方債		千円		千円		千円		
		その他		7,687 千円		7,765 千円		7,714 千円		
		一般財源		24,193 千円		25,938 千円		23,339 千円		
人件費	人件費内訳	人件費合計 (B)		- 人		5.05 人		5.05 人		
		正規職員		- 人		2.05 人		2.05 人		
		嘱託職員		- 人		3.00 人		3.00 人		
		臨時職員		- 人		人		人		
総事業費 (A)+(B)		31,880 千円		50,526 千円		47,609 千円		32,793 千円		
人件費/総事業費		-		33.30 %		34.77 %		-		
事業費の主な内訳 (平成24年度決算)		【委託料】舞台照明設備・舞台機構設備保守点検業務ほか13件							13,744,490 円	

### 3 事務事業の概要

目的 (何のために)	市民に生涯学習及び交流の場を提供し、並びに生涯学習に関する活動を総合的に支援し、もって本市における生涯学習の振興を図る。												
対象 (誰・何を対象に)	センター利用者												
事業内容 (手段、手法など)	<p><b>1 施設の維持管理</b> 施設の維持管理のために必要な各種業務委託や修繕整備を行う。</p> <p><b>2 施設の運営</b> 中央生涯学習センターの施設及び附属設備を市民の使用に供する。</p>												
実施方法	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">方法</th> <th>主な事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 市直営</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 業務委託</td> <td>建物管理業務</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 指定管理</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 補助金</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 貸付</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	方法	主な事業内容	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	建物管理業務	<input type="checkbox"/> 指定管理		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 貸付	
方法	主な事業内容												
<input checked="" type="checkbox"/> 市直営													
<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	建物管理業務												
<input type="checkbox"/> 指定管理													
<input type="checkbox"/> 補助金													
<input type="checkbox"/> 貸付													

4 取組・実績

<b>活動内容</b> (翌年度繰越額がある場合は、その理由)	利用者にとって安心かつ快適な施設の維持管理に努めるため、建物管理や空調機器等の保守・点検などの委託14業務を実施し、さらに利用者の利便性と安全を確保するため、大ホール中割幕電動開閉装置や本館エレベータ、漏水等の各種修繕16件を実施した。 大ホール141件、小ホール591件、会議室等5,140件の貸出しを行った。									
<b>活動・結果指標</b>	<b>【活動・結果指標名】</b>		<b>単位</b>	<b>22年度</b>	<b>23年度</b>	<b>24年度</b>				
	利用者数		人	154,481	146,805	143,864				
	利用件数		件	5,788	5,945	5,872				
<b>単位当たりコスト</b> (総事業費/活動指標)	総事業費/利用者数		円/人	206	344	331				
<b>成果目標</b> (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	申請件数は、年度によって増減があるが、申請件数が増えたとしても、利用者数が増える結果になっていないため、申請1件あたりの人数を成果指標に設定する。									
<b>成果指標</b> (目標達成状況等)	<b>【成果指標名】</b>		<b>単位</b>	<b>22年度 (実績値)</b>	<b>23年度 (実績値)</b>	<b>24年度</b>		<b>25年度</b>	<b>26年度</b>	
	申請件数1件あたりの利用者数		人	26.7	24.7	(目標値)	(実績値)	達成率	(目標値)	(目標値)

5 事務事業の評価

視点	評価項目	項目の説明	評価				
必要性	市の関与の妥当性	市が実施する理由、事務事業の目的、対象者の範囲等の妥当性はどうか	A	市が実施すべきである。			
	市民ニーズの傾向	市民ニーズ(サービス需要)は増えているか	C	あまり変化はない。			
有効性	類似事業の有無	他部局や国、県、民間企業等で同じような事務事業が存在するかの	B	一部、類似した事務事業が存在する。			
	単位当たりコストの妥当性	近隣自治体や類似団体と比較し、単位当たりコストは妥当か	D	比較資料がない。			
効率性	コスト削減の余地	実施手段の適正化、電子化、人員の見直し等により、コスト削減の余地はないか	A	削減の余地はない。			
	負担割合の適正度	コスト全体に占める自治体の負担(補助)割合は適正か	A	概ね適正な負担割合である。			
	民間活力の活用	民間委託、指定管理者の導入等、より良い代替策は検討できないか	B	一部、民間活力を活用済			
施策への貢献度	施策推進において影響度、重要度、貢献度が高い事業か	B	一定の影響度、貢献度がある。				
総合評価	費用対効果(B/C)の観点から、右下の表のA~Lまでの1項目を選択(未実施の場合はMを選択)	D	<b>前年度よりコストを削減したが、概ね目標達成した。</b>				
各評価の選択理由	中央生涯学習センターは、市民の生活文化の振興及び社会福祉の増進に寄与することを目的として、市の生涯学習を推進するため各種事業を実施していることから、市が実施することが妥当である。 また、140余りの自主サークル等が活動するなど、市民の生涯学習の活動拠点としての役割を担っているため、施設の需要は多い。 当センターは建築後38年が経過し、老朽化が著しく、施設の不具合等に対応した修繕が増加しているため、修繕内容によってはコストが増となる可能性があるが利用者が安心して快適に使用できるよう、維持管理を続けていく必要がある。		成果の達成度	100%以上	A	B	C
				90~99%	D	E	F
				50~89%	G	H	I
				50%未満	J	K	L
			総合評価	削減	同じ	増額	コスト投入状況
課題および今後の方向性	施設の老朽化に伴い修繕箇所が増加する傾向にあることから、空調機器等の各設備における重大な故障等防止のため、不具合の早期発見に努め、利用者の利便性と安全を確保できるよう、施設の維持管理に取り組む。						

## 平成 24 年度 事務事業シート ( 評価 )

<b>1 事務事業に関する基本情報</b>				事務事業番号	105 - 11	新規・継続	継続
<b>所 属</b>	教育委員会 生涯学習部 中央生涯学習センター 生涯学習係						
<b>まちづくり大綱</b>	第1節 個の力が発揮でき、人の力で発展していくまち 一人づくり						
<b>まちづくり目標</b>	③ 自らの興味・関心に応じていつまでも学び、活躍できるまち						
<b>施 策</b>	1-5 市民が主体となった学習活動の充実						
<b>事務事業名</b>	中央生涯学習センター活動事業						
<b>予算科目</b>	一般会計	10 款	5 項	1 目	36 細目	ハード・ソフト別	ソフト
<b>根拠法令</b>	社会教育法、東広島市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例						

<b>2 コスト情報</b>		<b>22年度 (決算)</b>	<b>23年度 (決算)</b>	<b>24年度 (決算)</b>	<b>25年度 (予算)</b>																														
<b>コスト</b>	<b>事業費</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">事業費合計 (A)</td> <td style="text-align: right;">2,380 千円</td> <td style="text-align: right;">2,282 千円</td> <td style="text-align: right;">2,254 千円</td> <td style="text-align: right;">2,416 千円</td> </tr> <tr> <td>  財源内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>    国県支出金</td> <td style="text-align: right;">千円</td> <td style="text-align: right;">千円</td> <td style="text-align: right;">千円</td> <td style="text-align: right;">千円</td> </tr> <tr> <td>    地方債</td> <td style="text-align: right;">千円</td> <td style="text-align: right;">千円</td> <td style="text-align: right;">千円</td> <td style="text-align: right;">千円</td> </tr> <tr> <td>    その他</td> <td style="text-align: right;">38 千円</td> <td style="text-align: right;">千円</td> <td style="text-align: right;">千円</td> <td style="text-align: right;">千円</td> </tr> <tr> <td>    一般財源</td> <td style="text-align: right;">2,342 千円</td> <td style="text-align: right;">2,282 千円</td> <td style="text-align: right;">2,254 千円</td> <td style="text-align: right;">2,416 千円</td> </tr> </table>				事業費合計 (A)	2,380 千円	2,282 千円	2,254 千円	2,416 千円	財源内訳					国県支出金	千円	千円	千円	千円	地方債	千円	千円	千円	千円	その他	38 千円	千円	千円	千円	一般財源	2,342 千円	2,282 千円	2,254 千円	2,416 千円
	事業費合計 (A)	2,380 千円	2,282 千円	2,254 千円	2,416 千円																														
	財源内訳																																		
	国県支出金	千円	千円	千円	千円																														
	地方債	千円	千円	千円	千円																														
	その他	38 千円	千円	千円	千円																														
	一般財源	2,342 千円	2,282 千円	2,254 千円	2,416 千円																														
	<b>人件費</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">人件費合計 (B)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1.65 人</td> <td style="text-align: center;">1.65 人</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>  人役内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>    正規職員</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1.65 人</td> <td style="text-align: center;">1.65 人</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>    嘱託職員</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>    臨時職員</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>				人件費合計 (B)	-	1.65 人	1.65 人	-	人役内訳					正規職員	-	1.65 人	1.65 人	-	嘱託職員	-	人	人	-	臨時職員	-	人	人	-					
	人件費合計 (B)	-	1.65 人	1.65 人	-																														
	人役内訳																																		
正規職員	-	1.65 人	1.65 人	-																															
嘱託職員	-	人	人	-																															
臨時職員	-	人	人	-																															
<b>総事業費 (A)+(B)</b>	2,380 千円	14,261 千円	14,017 千円	2,416 千円																															
<b>人件費/総事業費</b>	-	84.00 %	83.92 %	-																															
<b>事業費の主な内訳</b> (平成24年度決算)	<p>【報償費】中央生涯学習センター講師謝金 <span style="float: right;">2,000,000 円</span></p>																																		

<b>3 事務事業の概要</b>	
<b>目的</b> (何のために)	学習活動の支援や学習機会の提供を行い、生涯学習のまちづくりの推進を図るとともに市民の健康、仲間づくりの促進を行う。また、夏休み等を利用して、親子、家族のふれあいができる体験の機会を提供する。
<b>対象</b> (誰・何を対象に)	市内に居住、もしくは通勤、通学している者
<b>事業内容</b> (手段、手法など)	<p><b>1 主催講座、イベント等の開催及び運営</b> 各年齢層(老若男女)を対象に、地域のニーズや地域課題、現代的課題に即した様々な学習機会の提供を行う。 (1)中央生涯学習センター講座(前期・後期) (2)親子ふれあい教室等(親子ふれあい教室・親子ふれあいコンサート・親子ふれあい演劇等) (3)ロビーふれあいコンサート (4)サークル活動発表会</p> <p><b>2 自主サークル団体等の育成・支援</b> (1)主催講座から自主サークル移行のためのサークル結成の呼びかけや活動支援。 (2)自主サークルの紹介(掲示・窓口)</p>
<b>実施方法</b>	<b>方法</b>
	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営
	<input type="checkbox"/> 業務委託
	<input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> 補助金
	<b>主な事業内容</b>
	<input type="checkbox"/> 貸付

#### 4 取組・実績

<b>活動内容</b> <small>(翌年度繰越額がある場合は、その理由)</small>	生涯学習の拠点として、中央生涯学習センター各種主催講座等を開催し、市全域から多数の受講者を得ることができた。 更には、主催講座から自主サークルの育成を行い、生涯学習の推進を図った。  平成24年度中央生涯学習センター主催講座等実績 ・中央生涯学習センター講座(前期・後期・随時) 28講座 133回 1,894人 ・親子ふれあい教室 10講座 12回 272人 ・コンサート・演劇等 16回 2,745人 自主サークルの紹介 ・掲示(常時)、窓口(随時)							
	<b>活動・結果指標</b>	<b>【活動・結果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>22年度</b>	<b>23年度</b>	<b>24年度</b>		
	講座開催回数(年間)	回	151	160	161			
<b>単位当たりコスト</b> <small>(総事業費/活動指標)</small>	総事業費/講座参加者数	円/人	645	3,005	2,854			
<b>成果目標</b> <small>(指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)</small>	各種主催講座、イベント等への参加者を増大させるため、センターが主催する講座参加者数を成果指標に設定する。							
<b>成果指標</b> <small>(目標達成状況等)</small>	<b>【成果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>22年度(実績値)</b>	<b>23年度(実績値)</b>	<b>24年度</b> <small>(目標値) (実績値) 達成率</small>		<b>25年度(目標値)</b>	<b>26年度(目標値)</b>
	主催講座等参加者数	人	3,689	4,745	5,500	4,911	89.3%	5,500

#### 5 事務事業の評価

視点	評価項目	項目の説明	評価																										
<b>必要性</b>	市の関与の妥当性	市が実施する理由、事務事業の目的、対象者の範囲等の妥当性はどうか	A	市が実施すべきである。																									
	市民ニーズの傾向	市民ニーズ(サービス需要)は増えているか	B	増加傾向にある。																									
<b>有効性</b>	類似事業の有無	他部局や国、県、民間企業等で同じような事務事業が存在するの否か	C	類似した事務事業が存在する。																									
	単位当たりコストの妥当性	近隣自治体や類似団体と比較し、単位当たりコストは妥当か	B	概ね妥当である。																									
<b>効率性</b>	コスト削減の余地	実施手段の適正化、電子化、人員の見直し等により、コスト削減の余地はないか	A	削減の余地はない。																									
	負担割合の適正度	コスト全体に占める自治体の負担(補助)割合は適正か	A	概ね適正な負担割合である。																									
	民間活力の活用	民間委託、指定管理者の導入等、より良い代替策は検討できないか	A	全て市直営が望ましい。																									
<b>施策への貢献度</b>	施策推進において影響度、重要度、貢献度が高い事業か	B	一定の影響度、貢献度がある。																										
<b>総合評価</b>	費用対効果(B/C)の観点から、右下の表のA~Lまでの1項目を選択(未実施の場合はMを選択)	H	コストは前年度並みだが、あまり成果が上らなかった。																										
<b>各評価の選択理由</b>	中央生涯学習センターは、生涯学習推進の中核的施設であり、今後も継続して、市民のニーズや現代的課題等に対応した講座・事業を実施し、人づくりやまちづくりにつなげ、市民が、潤いのある人生を送ることができるよう学習機会を提供するためには、市が事業を実施する必要がある。 なお、本事業は、職員が講座の補助員を務めるなど主体的な取組みにより限られた予算、人員で実施しており、161回の講座を開催できたことは評価できるものであり、今後も継続して実施すべき事業である。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4"> <b>成果の達成度</b> </td> <td>100%以上</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>90~99%</td> <td>D</td> <td>E</td> <td>F</td> </tr> <tr> <td>50~89%</td> <td>G</td> <td>H</td> <td>I</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>J</td> <td>K</td> <td>L</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <b>総合評価</b> </td> <td>削減</td> <td>同じ</td> <td>増額</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <b>コスト投入状況</b> </td> </tr> </table>	<b>成果の達成度</b>	100%以上	A	B	C	90~99%	D	E	F	50~89%	G	H	I	50%未満	J	K	L	<b>総合評価</b>		削減	同じ	増額	<b>コスト投入状況</b>				
<b>成果の達成度</b>	100%以上	A		B	C																								
	90~99%	D		E	F																								
	50~89%	G		H	I																								
	50%未満	J	K	L																									
<b>総合評価</b>		削減	同じ	増額																									
<b>コスト投入状況</b>																													
<b>課題および今後の方向性</b>	生涯学習を効果的に推進していくため、より市民の学習ニーズや現代的課題等に対応した講座等を展開していく必要がある。 講座参加者数増大に向けて、ホームページの充実による広報の強化や、魅力ある講座、イベントの企画など、取組みを進めていく。																												